

体育祭

春の雪舞い散る

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

俺がTS属性の二重人格者であるのは間違いないんですけど？ の体育祭ですが…
ナゼかこうなりました

目次

比企谷八重の体育祭	1
修学旅行	6
実行委員長は比企谷八重	21
俺が事故で構ってちゃんになってしまった件について	27
第5話	39

比企谷八重の体育祭

今日のホームルームは体育祭についてで競技に参加する気のないアタシは文化祭に引き続いて速攻で体育祭の実行委員に立候補

で、会議の司会進行を務める事になり相手は一緒に職場見学した鈴置でアタシの推薦だ

最初は「運動神経鈍いから」と渋ってたけど

「だからこそ、裏方を一緒にやろうって言ってるんじゃない？」

表舞台は隼人中心に

運動神経良いヤツ等に任せときゃ良いんだからさっ♪

その分アタシ等は裏方として盛り上げようって訳

鈴置なら放送部と一緒に音響担当をこなせんじやないの？」

そう言ってるウインクしてみせ

「その他運動部の部員の人達を中心に活躍してもらおうの期待してるけど良いかな？」

「
そう言ってる盛り上げることにした

実行委員会には予想通りに雪乃も居たが、実行委員は競技に参加しなくても良いって

言うのが何よりも美味しいからね

会議が始まって城廻先輩が

「あ、あの…比企谷さんに聞きたいんだけどなんで比企谷さんはなんで制服じゃなくてメイド服を着ているのかな？」

と、聞かれたんだか当然な質問をしてきたんだよね

「実行委員ってゆるー言わば裏方にぴったりだからって…なんか適当に言いくるめられる気はするんだけどまあそんなもんかな？」

と、アタシもそう思うもんで着替えました」

そう答えると鈴置が

「取り敢えず平塚先生の同意を得てますから問題ないと思いますよ？」

そう答えると

「そっか、平塚先生がなにも言わなかったのかあ、なら全然OKだねっ♪」

って、城廻先輩のそな発想も極端だな… まあ、良いけど

と、思いながら会議の成り行きをみていた

当日の役割分担が決められ鈴置はBGM及び音響担当でアタシは各種伝達役でパタパタ走り回る…ハズだった

当日の朝早く集合したアタシ達実行委員は会場設営準備し来賓席を用意していた
メイド服を着て忙しげにパタパタ走り回るアタシは結構目立っていて気が付いたら
城廻会長と校長室に呼ばれ

「実行委員の仕事が大変なのは承知しているがその比企谷と言う女子生徒に来賓席に
見えるお客様方の接待役を頼めないだろうか？」

そう言われ

「比企谷さんなら雪ノ下先輩のご実家で色々学んでいると先輩から伺っておりますか
ら問題ないと思いますが：お引き受けする？比企谷さん」

そう会長の城廻先輩に聞かれて

「私は1委員に過ぎませんから会長の城廻先輩がそれを必要とお感じならばそう指示
してくださいれば従います」

そう答えると

「なら、比企谷さんは校長先生のお手伝いをお願いします

校長先生、そろそろ私は仕事に戻ってもよろしいでしょうか？」

そう城廻先輩に言われた校長先生が

「ウム、よろしく頼む」

そう許可を得て

「比企谷さん、後はお願ひします」

そう言つてアタシをみたらアタシも

「承知いたしました、城廻会長」

そう憐と答え小さく頭を下げた今のアタシは委員としてパタパタ走り回つていたメイド喫茶のメイドさんモードじゃなく

雪ノ下家で鍛えられたマジもんのメイドモードに切り替わつていて取り敢えず校長先生と共に来賓の出迎えをすることになった

もちろん来賓としてお見えになられたなられた方達の大半は雪ノ下家かヤマカガシ騒動の余波の際に会つたことのある方達

言わば面識のある方達なので然程問題なく対応できた
つて：アレ？体育祭どうなった？

2ーFの皆は活躍してチームの勝利に貢献しアタシも：

男女混合借り物競争で「小さな子」「メイドさん」「ツインテの子」と三度も協力者となつて参加しましたよ？：誰、こんなお題書いたのは？

ピンポイントでアタシ晒し者だよね？ねえ、アタシなんかした？

この日以来アタシのメイド服姿は総武の名物になり卒業生じゃないのにかなり割合

で卒アルのイベント写真にアタシのメイド服姿が写されていた

もちろん：我が親友の留美に大笑いされたのはゆるーまでもない事だろう

修学旅行

① アタシに言えた義理じゃないが人の気持ちを考えてよな

修学旅行を目前に控えたある日の放課後の事

隼人が戸部を連れて訳のわからないことを言ってきた

姫菜が好きな戸部が姫菜に告白したいけど失敗はやだつて… お前はだだっ子かよ

？

余りにもその身勝手さと馬鹿馬鹿しさに当然アタシ雪乃は却下

なのに結衣が引き受けたいと騒ぎ出すから三人に思いつきし説教をかましてやった

「ふざけんじゃねえぞっ！ お前からアホか？ ナニ、告白失敗したくないって… 意

味わからん事抜かしてんじゃねえゾッ！

失敗したくないってアレか？ 滑つたり噛んだりしたくないって意味か？

少なくともアタシ等だけじゃねえ、結婚相談所だつて結果にや責任持てんのに引き受

けたきや一人でやれ

一生に一度の修学旅行をそんなわけのわからんもんで棒に振りたくねえぞ？

そもそも、失敗しない告白なんてそんな方法が有るなら平塚先生が独神なんて呼ばれてるわけねえだろが？

つか、平塚先生に喧嘩売るつもりなら勝手にやってくれよな？ 巻き込まれたいとか、微塵にも思つてねえからな

隼人、お前もアタシに負けず劣らずアホだったんだな？ 方向性は違うけど…

趣味優先の姫菜に今は男と付き合う意思は見られんからな？ 玉碎の覚悟が無きゃコクるんじゃねえよ

つかはつきりと言わせてもらうが戸部… お前にはホント失望したぞ、もつと男らしいヤツだつて思つてたのにな

隼人、お前… 雪乃にこんな話持ちかけていったいどうゆうー神経してんだ？

雪乃や陽乃さんにイヤな見合い話が来ても仕方ないから諦めろとも言うのかよ？

結衣もだ、これつて完全に姫菜の気持ち無視なんだからな？

少しは姫菜の事を考えてやれよ、アホな男二匹がまるつきり考えてないんだからアタシ等が考えてやらなきゃ救われんだろうがよ

それに實際の話、雪乃や陽乃さん達に有り得る雪ノ下家が断れない政略結婚を容認しろつて…

そー言ってるのと同じ事なんだぞ？ お前、それをわかって言ってるのか？

ハッキリ言つてこれを機に、この先お前らとの付き合い方を考え直させてもらうわ
悪いが彩加と沙希にはアタシから：

さすがに詳しい内容までは話せんがある程度の事情を話して修学旅行の班や部屋割りについては考えなおさせてもらうからな

それに、三日目の自由行動も今ここではつきりと言つておくがお前ら三人とは別行動を取らせてもらう

せつかくの浮かれ気分で楽しみにしていた旅行気分を台無しにされたんだからな

雪乃： 悪いが頭冷やしてくる、いい加減ムカついたからな

最後にひとつだけ警告する、お前ら三人： 特に結衣はアタシの前では二度とコイ

バナすんなよな

お前らの恋愛に対する価値観は肌にあはれんどころかヘドが出るっ！ ペッ」

雪乃に退出を告げて床に唾を吐き、自販機に向かつて部室を出たら部室の扉の前に姫菜と優美子が居た

二人が部室に近付いて来てたのは気配で知っていたけど取り敢えずは居るのに今気付いたふりをして

「んっつ…：もしかしくなくても聞今の話こえちやったよね？ ごめん」

そう言つて二人に頭を下げると

「別に八重は全然悪くないし姫菜のために怒つてくれたんだから謝るなし：それにあーしも八重の意見に賛成だしね

それにさ、今はあの三人にあーしから敢えてゆー事なんかはひとつ言もないかないかね：

言いたいことはあらかた八重が言つてくれたから今追いつち掛けるまでもないんじゃないかね？

あーしも八重と一緒に自販機に行くから姫菜も一緒に来なよ」

そう優美子に誘われ三人で揃つて行く事にした

そして奉仕部、部室では

「どうやら貴方の思ひは報われそうになかつたみたいね？

今、ドアが閉まる瞬間、海老名さんと三浦さんが八重さんと話してるのが見えたけどどうやら立ち去つたみたいね足音が離れていくわ」

そう雪乃に言われた結衣が

「何で優美子と姫菜がここに：」

そう呟くのを聞いて

「八重さんじゃないんだから女子なら普通に気付くのではないのかしら？　そう言った視線で男の人に見られていれば…」

恐らくは三浦さんが相談に連れてこようとしたのだと思うのだけれど？」

そう雪乃が言うと

「あたしにはそんなこと何も…」

「言われなくても気付いてあげるべきだったわね、友達と言うのならばなおさらのこと…」

それだけ貴女は、海老名さんの事をちゃんと見てこなかった、うわべだけの付き合いだった…」

「って、そう言う事ではないのかしら？」

秘めた思いなら気付かなかった…　そう言つて済まされるけど今回の事はそうではないはずよ？」

積極的に人と関わろうとしない八重さんですら海老名さんの気持ちに気づいていたのにね

それにつけても哀れなのは大岡君と大和君ね…　楽しみにしてた修学旅行で下手したら八重さんに相手にしてもらえないかもしれないでしょうから…」

「彼等はなにもしていないのによ？」

そう言つて雪乃は溜め息を吐く雪乃だった

結局： 姫菜と優美子は大岡と大和の四人で班を作りアタシは彩加と沙希に実家が薙刀の流派を構えている柳楽君を誘うことにしたんだ

コスプレでとあるゲームの薙刀使いのヒロインを演じるのに薙刀を我流で振り回してたんだよね

最初の内は闇雲にね： だけどやつぱりそんな事で薙刀の経験の無いアタシが薙刀使いのヒロイン気持ちを理解なんかできるわけもないしこればかりは八に聞いても仕方無い

そんな風に悩んでた時に

「実は家の母さん柳楽流薙刀術の師範で少ないながらも門下生も居る道場主なんだけど良かったら一度見学に来る？」

来るなら母さん：師範に紹介するんだけど？ 薙刀に興味有る子だよ、つてね」
それで紹介してもらつて週一位のペースで通つてるんだ

そんな感じで親しくなった柳楽君に彩加と大岡に大和の四人で一部屋アタシと沙希に姫菜と優美子で一部屋のグループに別れた

優美子に 『 大岡と大和はこの件には関わつて無いから修学旅行を一緒に楽しむ

んでやれし

アイツ等だつて八重との修学旅行を楽しみにしてたんだからね？」

そう言われて彩加と沙希も二人を受け入れてくれるからアタシも様子を見てて十二も知らなかったことに気付けたから優美子の助言を受け入れた

因みに結衣は相模と名前知らん女子と班を組み戸部と隼人は佐東と鈴置を誘つたらしい

まあ、アタシには何も関係ない事なんだがな

これがきっかけで結衣と隼人とは距離をおき始め

とある事件のせいで更に疎遠となり始め、三年になる時のクラス替えで完全に交流が途絶える事となることをアタシ達は知らなかった

② 夢の超特急ね

新幹線の座席は六人掛け進行方向を背に窓から沙希、姫菜と優美子で向かいは窓から柳楽、大岡に大和

夕べ？今朝？作っておいたサンドイッチとクッキーを渡して

「良かったら摘まんでいてくれ」

そう言つて彩加と席に着いた

アタシと彩加は向かい合わせにはしないで彩加にもたれて寝ていた

彩加にもクツキーとサンドイッチを渡してから

何しろ夕べは寝ないで彩加へのクリスマスプレゼント用にセーターを編んでたんだからな

もちろん、今のアタシにはオリジナリティーなんか出せるはずも無いからわざわざペアルックなんて言う必要はない

当然、親父に母ちゃんと小町にアタシのもサイズか違うだけで一緒なんだからな

まあ、強いて言うなら色が違う

親父は青で母ちゃんはオレンジでアタシは黄色に小町はピンクに彩加は水色

それと、一番最初に作る親父のと一番最後に作る彩加のとじゃ経験値の差によるクオリティーの違いはあるけどな

それでもまあ、比企谷フアリー with 彩加…みたいな感じじゃね？

京都に着きバスに乗り換え観光地巡りで金閣寺く龍安寺く仁和寺と巡り一泊目のホテルへ

食事の時は相変わらずなアタシはオカン優美子に世話を焼かせ、アタシに好意的な人

達に苦笑させ平塚先生に溜め息を吐かせている

そして大浴場では

「八重つ、ちゃんと頭と身体を洗ってから入りなっ！」

「ちよつ、ちよつと八重… ほら、危ないから風呂場で走り回ってるんじゃないよ、全く…」

けーちゃんより落ち着きがないヤツだねえ〜つ…

ほらつ、ちゃんと肩まで浸かるっ！」

そう言つて溜め息を吐かせ、上がつたら上がつたで長く伸ばした髪をろくすつば拭く気もなくお風呂上がりの牛乳を飲むアタシに

「 髪の手入れする気がないんだつたらバツサリ切つちまいなよ？」

そう言つて溜め息を吐くと視線に気付いた沙希に

「 小町や陽乃さんが切るなつて煩い 」

そう言つて知らん顔を決め込んでるアタシを見て

「 普段のしつかり者のイメージが全壊だね… 比企谷さん 」

そんな言葉を聞いた沙希が

「 仕方無いだろ？ このだらしの無いのも八重なんだよ… 」

医者や妹の話しじゃ八重は時々こんな風に幼児退化するそうなんだよ…

しかも最近、その頻度が徐々に上がってきてるってね
この見た目のまんまの幼児化した八重も八重なんだよ
そう言つて溜め息をつく沙希と優美子に姫菜だった

二日目、お昼まで太秦見学のアタシと沙希はくの一に：

沙希は水戸黄門のあの人みたいでスゴく格好良いけどアタシはどうみても子役だった上に小学生と間違われ子役としてスカウトされた：

ホント、マジに超ムカつくんですけどもおろつ

彩加は暴れん坊將軍で大岡と大和は水戸黄門のお供の二人に柳楽君は虚無僧になり
優美子はやっぱりのお姫様に変身して（時代劇の衣裳に女王様はないからな

） 姫菜は辻占い師へと各々に変身したんだ

そのせいでアタシと彩加に沙希、優美子はかなりの人目を引いて取り囲まれ写真を何枚頼まれたのか覚えてないけど調子に乗つて小道具の薙刀を借りると

『 神崎風塵流… 胡蝶の舞っ！ 』

つてやったらこのネタ知ってる人達に

『 例のアレ決めてよっ、ア・レ・っ ♪ 』

つてリクエストされたから皆に 『 アレ 』 説明して

『勝利のポーズ、………』 決めっ！』 『カシャって感じで祈念撮影

因みにその後暫くはくの一だからな、アタシは… ステルスモード発動でのんびりさせてもらった

昼食後は清水寺界限で、参拝とショッピングと散策を楽しんだ

夜、ラーメンを食うためにホテルを抜け出そうとする平塚先生と遭遇してしまい喋らないよう口封じにと道連れにされちゃったけどお腹痛い

普通に一人前食べきれないのご飯食べた後なんだよ？

半分位しか食べられず残りは平塚先生が平らげましたよ…アンタ、マジで太るよ？

寝る前に胃薬飲みましたけどね、全く…

あの人と関わるるろくなことになるんだからさ、ホントとんでもない目に遭いましたよ

三日目の自由行動はやっぱりコスプレ？の舞妓さん体験で、勿論四人揃って舞妓さんに変身する予定

え？高いのに平気なのかって？

フフンっ♪ ちゃんとパトロンが居るから平気なのさって言うより陽乃さんがアタ

シに舞妓さんの格好させたいんだからさ

だから自分達も巻き込まれることを知らない沙希、姫菜、優美子も賛成し男子達は喜んで賛成した

祇園で陽乃さんと待ち合わせして舞妓さんに変身

町を歩いたら思い切り写真を撮られまくっちゃったけどそれはそれで面白い体験ができたね

舞妓さんのは知らないけど、和服での所作は雪ノ下家でみっちりと躰ていただいでるので結構アタシと沙希は誉められちゃいましたよ（＾＾）v

それにメイクのせいで、同級生達も案外気付かれないもの

後で気付いてビックリなんだろうけど、偶然出会った何人かはアタシ達の舞妓姿をカメラに納めましたよ

お昼前には、雪乃と合流してから湯豆腐を食べに行き

その後、八坂神社を参拝してからぶらぶらと陽乃さんも含めてみんなで祇園の街を散策

京都最後の宿は、陽乃さんと一緒に夜を過ごしたんだ

最終日、姫菜と楽しみにしていた京アニメーションに立ち寄り京都駅でお土産を買う

ことにしたら京アニで京都在住のコス仲間とバツタリ

陽乃さんとも意気投合して

「呼んでくれたら喜んで参加するから教えてね、コスイベっ♪」

そう再会を約束してましたよ

餅
京都駅に戻りお店には沙希は生八つ橋にアタシは雪まろげで店長さんには祇園ちご

自分用に雪乃と部室で紅茶を飲みながら食べるあんパンとカルネ

小町と母ちゃんにあぶらとり紙と生八つ橋

親父と雪ノ下家には地酒： え、未成年なのに買ったのかだつて？

そんなの陽乃さんにお願ひしたに決まってるだろ？ 宅配便でな

蒼空とけーちゃんには千代紙

大志と留美に瑞希は小町にも渡すストラップと家に持って帰って貰う五色豆

新幹線の中で食べる京菓子詰め合わせとカフェオレに彩加と共有するストラップ：

鵜飼先生と師範には金平糖をそれぞれに買った

今、アタシの手に有る思い出の詰まったデジカメ：

彩加が撮ってくれたくの一に舞妓姿のアタシ

それに、そのアタシと彩加に寄り添うアタシの写真

知らない人や、他のグループの人が撮ってくれたアタシ達の写真と共に沢山の思い出が詰まっている

「彩加……これ、…貰って」

そう言つて渡した包みの中から出てきたのはアタシのPHSにもついている四つ葉のクローバーのストラップで……

「だから、僕にお揃いを買おうつて言わなかったんだ……じゃあ、僕からはこれを八重に……開けてみて」

そう言われて包みを開くと、中から出てきたのは花根付けの着いた柘植の櫛で

「良い物は……僕達が大人になるまではそれで我慢してね」

「う、うん……楽しみにしてる」

そう答えたアタシの視界はボヤけていた、もちろんあふれでる涙のせいだ

バカばつかしやつてたけど楽しかった修学旅行……

心残りがあるとするとするなら……反省してくれなかった三人とそれを許せなかった心の狭きアタシかな……

否、そんな考えはアタシの驕りだろう……

確かに三人の犯そうとした罪を断罪したのはアタシだがいつてみればアタシは検事に過ぎない

自分勝手な事をしようとしていた自分達の愚かさ、それを自ら反省し言い訳じやない誠意を姫菜と優美子に見せるべきだったのに……

隼人と結衣は常に言い訳からしか口にしないから優美子をキレさせたのだからフォーのしようがない……

つまり、アレに関しては怒っているのはアタシだけじゃないって事だ

と、言うか大人と言うには未々遠かったんだよアタシ達はさ

でも、これだけはハッキリ言えるのが優美子の勧めを受け入れ旅行を大岡と大和と行動を共にしてよかったってこと

でなきや、もっと悔やんでたと思うし楽しんでなかったと思うからさ

こうしてアタシ達の修学旅行は無事に終わりを告げ幕を閉じるのだったのだった

実行委員長は比企谷八重

① 立候補

夏が終わりいよいよ文化祭が近付いてきた総武高校でももちろんアタシは実行委員に立候補した

だけど、どうやら相模もやりたかったらしいが… やりたきやなんで立候補しないんだよ？

まさか周りから押される様な人望があるとしてもゆーつもりなのか？

そう言いたいのがマジウザいから気にしない

男子は佐東が手を上げて、他に誰も居ないのですんなりと決まっていたから

「文化祭を楽しみたいから一緒に盛り上げよーぜ つー！」

そう言ってガツチリ手を握りあつた

そして実行委員会じや陽乃さんと面識の有る生徒会長の城廻めぐり先輩と出会

実行委員会会議場には雪乃も居た

もちろん当然のような顔をして立候補しましたとも、実行委員長にね

だからそんなアタシに呼応して雪乃も副委員長に立候補してくれたんだよ

「一緒に頑張りましょうっ！」

アタシの手を握りそう言ってくれた

そして委員長就任の挨拶は

「委員長つても特別偉い訳じゃなく皆の協力がなきや高いところに有るものを取るのも一苦労するから皆の力、アタシに貸して欲しい： 頼めるかな？」

アタシの言葉に一瞬笑いが漏れたけど顔を引き締め

「三年生の諸先輩には『今年の文化祭こそが最高っ！』って思い出し、一年の後輩諸君には『総武の文化祭って最高っ！』って思っても、それ以来、一年の文化祭に繋がれば良いなかなって： そう思っている

そしてアタシ達二年は、いよいよ来年の春から受験生になる前の最大にして最後の： アタシ達自身が： いや、アタシ達二年が中心に企画を引っ張りアタシ達自身が燃え上がるイベントなんだよ？

ここで完全燃焼せずに悔いなく来年の受験競争、就職前戦に立ち向かう事ができるか？

少なくともアタシは悔いが残ると思うからみんなの力を貸してほしいんだよ

実行委員やって良かったって思える最高の演出をして文化祭を盛り上げてやろう
じゃんかつ！」

そう叫ぶと皆も

「おおっ！」

そう氣勢を上げて盛り上がってくれた

② 飼い犬

役割分担が決められていきそれぞれに打ち合わせが始まる

メインをミスコンにするかアイドル呼んでライブにするかって話しになり

「アイドルは予算的に厳しく、ミスコンには女子の同意が要るぞ？」

ってアタシが言うと

「ミスコンに関しては、委員長も言った通りに女子の同意が必要なだけに俺達だけで決めて良いのかわからない

それだけに、今は何とも言えないこの案は一旦横にでも置いて俺からの提案…

わざわざ半端なアイドルなんか呼ばなくても、実行委員長と副委員長

2ーFの川崎さんに三浦さんと由比ヶ浜さんってこれだけ華やかな面子が揃ってるんだからさ

俺達軽音部が責任をもってバックアップするから… このメンバーでバンド組んでもらって、ライブコンサートをやってもらうってのはどうかな？」

そんな事を佐東に言われて（・・・；）（目が点に） になってるアタシと雪乃に

「雪ノ下さん、の正確なりズムキーブなら良いベシストになれるし同じく川崎さんならパワフルなドラマーが期待できる

三浦さんのギターは弾けそうだし、由比ヶ浜さんはオルガンやってたって聞いているからキーボードで：

アニメ声の委員長の歌声はバイト先じゃものすごい人気なのは仲の良い人達の間じゃかなり有名な話だからな？

だからこんな機会、委員長自身が盛り上げる企画だから是非とも文化祭のステージでも歌ってほしい」

そう言ってタブレットを机の上に置いて写し出される画像は：

うん、陽乃さんのお誕生日の翌週皆でカラオケ行った時に撮った映像だ

あの時は… 映像のアタシが着てる、つか着せられてる第3新東京市第弐中学校の制服姿でつれ回されたからな… トオイメ

そりやもう悪目立ちが半端なかったのな

で、この映像で今歌ってる曲はもちろん残酷な天使のテーゼ<A. D. 2001>
で魂のルフラン(Aqua Groove Mix)に心よ原始に戻れ(Naked
Flower Version)と、続いているんだよね

アタシのステージ衣裳は伏せられているけど綾波レイバージョンのメイド服で同じ
メイド仲間?ってことで沙希はアスカ・ラングレイバージョンのメイド服

で、後のメンバーは3新東京市第弐中学校の制服姿でって事だから全ては陽乃さんの
差し金らしいのが見え見えで頭が痛い

ナンで今朝決まった事 (アタシが文実の実行委員やる事) を陽乃さんが知っ
てるんだよ?

って犯人は材木なんだけどね、彩加に聞いて陽乃さんに報告したらしいしあの画像も
陽乃さんの指示で佐東に提供したらしい

どうやらすっかり陽乃さんに飼ひ慣らされているらしいが: 自覚有るのか? 材木
:

全く、しょうもない

委員会、全員一致 (反対はアタシと雪乃だけ) でアタシ達のライブ開催が決
定したので、アタシと雪乃に佐東が2ーFに行つて要請することになったんだが:

まあ、優美子はこーゆーの好きそうだし優美子に「やるよっ！」って言われりや恥ずかしがりながらも参加するのはわかるんだが…

「以外な事に沙希が積極的にやるって言ったんだよね…」

「てつきりアタシ達同様に、やりたくない派だと思っていたんだが恥ずかしそうに…」

「そんな事ができるのも高校に通ってる、」

今のうちにしかやれないことだからね… もちろん、初心者だからしつかり教えてもらわないと困るから頼むよ？」

その沙希の言葉を聞いたアタシは

「普通はそーだろうけど、アタシはこの身体が成長してくれなきや大学卒業しても陽乃さんに呼び出されてやらされてる未来しか見えなからな…」

そうぼやいたアタシは間違ってるはずだ

俺が事故で構ってちゃんになってしまった件について

「あ、頭いて… つか見慣れない天井だ…」

まあ、こう言った場合十中八九病院だと思つて間違いないんだがな…

コンコンとドアを叩く音がして『失礼します』 そう言つて入ってきたのはベテランらしき看護師で俺の目が開いているのに気付いたその人が慌てて担当の医師を呼び…

家族にも知らせたらしいが来るわけ無いのにな… そんな俺の思いは別にして医者話によるとあの入学式の朝から三ヶ月近くもの間、ただひたすら眠り続けていたらしい…

特別な医療器具が必要訳じゃなく一見ただ眠つているだけに見えるのに目を覚ます心配が全くない… なんとも言い難い状態だったらしい

そして今、目を覚ましたわけだがある意味これからが大変だろうな… 何せ三ヶ月近くも眠つてた俺の筋力低下は半端なくリハビリしてる間に一学期は終わるだろうし授業もな…

え？俺の留年確定してらって…マジっすか

あのクソ親父の事だから中退しろって言うてるのは目に見えてるし家からも追いつけられる未来まで見えてるんだが…

俺が眠っている間に色々変わっていて俺の寝顔を見ながら俺を放置していた事を悔やむ母ちゃんは今、親父との夫婦仲が険悪な状態らしく

今も俺が目覚ました知らせを受けて小町と二人、面会に来ている

因みに精密検査を受けた結果一見なんの不都合もない様に見えたのだが…

微妙な話になるがいわゆるところの記憶障害の俺は黒歴史に関する記憶がごっそり抜け落ちているからそう例えば

『折本かおり…って誰だ？心当たり、ぜんぜんないんだがな…』

そんな状態だったから身体と頭のリハビリを受けながら穏やかな日々を送っていた
不要な記憶が削除されてスッキリした頭は以前よりも回るようになり俺が独学で高
一の勉強を始めたのを知った事故の関係者（雪ノ下陽乃）が勉強を見てくれる
事になり

そのお礼に退院前からリハビリを兼ねて本格的に習い始めた料理を小町を含めた三人で、時には早く帰ってきた母ちゃんも一緒に食べる…

そんな穏やかな日々を過ごす俺は今やすっかりキャラが変わっていてもはや別人であると言つても過言ではなく：

あ、コミユ障は変わらんつかある意味悪化してるらしく特に女子の前じゃ顔マツカの噛みつきみであるが以前の俺との決定的な違い

それは俺がすっかり構つてちゃんになっていた事で、腐り目がすっかり浄化され入院中に落ちた筋力は完全回復には程遠く元からインドア派の俺が更にあまり出歩かなかつた受験勉強期間

全くと言つても良いほどヒノヒカリを浴びなかつた俺はよく言えば抜けるような白い肌を手に入れ記憶と共に腐つた性根と言われた思考は無く

料理はもちろん、家事万端をこなせる様に進化しつつある俺が専業主夫の夢を忘れているのにその道を歩んでいるのが笑えるんだが

と、言つた感じで留年したこの世界の俺、比企谷八幡は葉山グループとクラスメイトにはならないし陽乃さんの紹介で生徒会の庶務をやらされる事になるので奉仕部に入る事もない

ただ：　そう、俺が戸塚彩加と友人関係になる運命は変わらずハビリの為に陽乃からテニスを習っていたからソコソコ上手いが如何せんスタミナ不足は何ともならんからな

それこそ雪ノ下雪乃と良い勝負な位に筋力、体力共になんだよな…ひきつった笑いしかできないまでさえある

だから運動不足解消の意味もあって生徒会の仕事が無い時はテニス部に顔を出して戸塚の特訓に付き合っていたから奉仕部のイベントは発生しない

色々な意味で注目されていた俺は「学力だけなら二年に上がっても差し支えない

—

と、陽乃さんの太鼓判を貰っているだけあって学年一位になるのは陽乃さんの決定事項だったりするが期待に応えて結果を出した

後、一学期に俺が絡むイベントはか、川ナンとか（学年が違うので面識が無い）

さんの不良化で奉仕部が絡む事も無く

人脈（戸塚の友人つながりて友達の友達ってヤツだな）スカラシップの提唱で問題を解消した

因みに千葉村には生徒会の代表として参加するが鶴見留美にはダメダメな学校に見切りを付けさせ戸塚が通うテニススクールを紹介

後、俺も指導する約束をしたりもして夏休みが終わる頃には技術的なモノはともかく体力と言うかスタミナ不足は相変わらずな俺は戸塚に丸投げ近い状態かも？

体育祭、文化祭は生徒会の庶務として参加し雪ノ下雪乃を煽って実行委員長を押し付

け副委員長は同じ2ーJの委員が就任し無難に終える事が出来た

俺が執事服を着てクラスの出し物の執事喫茶で執事をやらされ無ければ良い思い出だけが残ったんだがな

そして生徒会選挙

はつきり言つてやりたくはないんだが： 城廻会長を始め現行の執行部が揃つて後継者として指名し入学式以外の全てのイベントに絡んできた俺は一年だが既にライバルはなく

アンチ一色の悪巧みも俺が出ることを知つている一色の担任が判子を押す前に一色に『 今回の選挙、有力な候補者の出る会長は難しいから他の役員に変える気はないか？ 』 そう打診する事により悪巧みが発覚し主犯格の数人が停学

巻き込まれた結構な生徒がペナルティーの奉仕活動を命じられ、問題の主犯格の生徒達がサッカー部のマネージャーであることからサッカー部のもその責任を問われた結果

対外試合の自粛となり、冬季大会に出ることができなくなり益々主犯格の生徒達の風当たりが強くなり放置していた葉山にも怒りの矛先が向き来年の受験を言い訳に三年を待たずに退部した結果

メツキが剥がれ落ちた葉山は信用を失い修学旅行でも何か有つたらしいが学年の違

う俺が知るわけもないんだが…

かつてはカーストトップに君臨していた男も、二学期が終わる頃には見る影もなくすつかり落ちぶれていた

そうそう、海浜とのクリスマスは意識高い系のバカ共が都築さんに弟子入りして時々陽乃さんの手伝いをしている俺の相手が勤まるわけがない

所詮、ごっこ遊びでしかかかない連中が修羅場を見て、肌でそれを感じてきた俺が「ごっこ遊びを今すぐに止めるか、総武が手を引き今日のごこまでの議事録を両校に提出して総武撤退を報告する

会議ごっこして進展しない連中の為に費やす時間はないし、そもそも総武の意見を無視して共同開催とか全く笑えんぞ？

副会長、責任は俺がとりますしさつきも言いましたが総武側の意見を聞くつもりがないのだから居る意味がありません、帰りましょう」

そう言うって立ち上がると他の役員も立ち上がり

「僕も君の意見に賛成だ、自分達が何をすべきかもわからない君達と一緒に踊る気はないからね」

そう言うって部屋を出ようとする俺達の行動に頭が真っ白の海浜執行部に代わり

「何で比企谷が一年生会長ナンかよくわかんけどウケル」

そう言われて

「折本さん…… だっけ？ 悪いんですけど去年事故に遭って記憶……特に中学の記憶がほとんど無いからアンタの事知らないんですけど？」

後、事情を知らない事を無神経に口にするのもどうかと思いますがね？」

「待つてくれ、今君達に出ていかれ」「お前の都合なんざ知るかよ、責任取る気も無いくせに会議を仕切るんじゃないやねえ

そんな連中に付き合わされた挙げ句に責任だけ押し付けるつもりなら先手打たせてもらう

「悪いが既に総武の生徒会顧問には議事録を送らせてもらったから言い訳は早目に考えておくんだな」「

そう言い放つと

「自分の発言に自分が責任を取るって明言してる総武の会長に比べて言ってる事は相変わらず意味不明だし『責任を問われたら困る』って言おうとした玉縄サイテー……」

と、海浜からも出始めたから

「僕達は一体どうしたら……」

等と未だ言ってるから

「お前らだけがわかりあう会話ならお前らだけの時しろ

少なくとも議長には説明責任があるはずなんだがな？　ちゃんと日本語に通訳してもらわないと会議ならんのだが？

つて：アンタの場合、そこから既に躓いてるからその次の一步なんざ出せるわけ無いだろうが？

アンタ等さ、成功以前に開催する気有るわけ？　俺個人の意見を言わせてもらうならリスクとデメリットしかない共同開催の意味がないんだが：

まずはその段階から納得できる説明をしてもらえないと俺達総武側のモチベーションが上がるわけ無いんだがな？」

そう言ったところで説明できるはずも無くそしてする気もないのは明白で

「これじゃ話が進まないから俺個人の意見を言わせてもらうなら共同開催は却下

二校で会場を押しえて：　そこから後は海浜ブースと総武ブースに別れてお互いが干渉しないでやり易いようにやれば良い

それが最大限の譲歩でそれが飲めないなら総武は総武で単独開催した方がマシだ」
「そうやって共同開催を同時開催に変更させそれぞれに別れて打ち合わせを続行する事にした

「少なくとも招待客がある程度決まってるんだからその人達が喜んでくれる企画を

考えるべきだろうが：

老人会と婦人会に保育園児か： あ、俺この人知ってるぞ： 俺が通ってた保育園の園長先生ナンだがクリスマススリース作りはどうだ？

もちろん他にも色々用意するが要は参加型のイベントにしてみんなで楽しもうって感じにしないとぶつちやけそうしないと時間がなくなっていくんたからな？」

その他に俺が出したのはカップケーキを焼いて食べてもらう事と奉仕部に応援要請を出す事でももちろん翌日奉仕部を訪れて応援要請して承諾を得た

他にも保育園の方は川ナンとかさんの年の離れた妹が通っていたので橋渡しをしてもらい小学生には鶴見留美がいてくれたから小学生達に説明する時は鶴見との会話を中心に進め

わからないところを質問してもらい説明を重ねて、理解してもらう様にしていったがその一方で相変わらず進展しない駄弁りを続ける海浜生徒会執行部

その執行部に見切りをつけた海浜の参加者が俺達の所にきて手伝いたいと言うので「参加してくれる人達はもちろん、俺達自身もやって良かったって思えるイベントにしよう」

そう言って迎え入れだが何か足りなかった

未だにと言うか今更と言うかがバンドの生演奏がどーたらかーたらとか言ってるか

ら

えよ
（今更誰に頼むんだよ？ ある程度活動をしている人達がこの時期に予定無い訳ね

あーっ、だが園児の歌声は悪くないから保育園に相談できないか川ナンとさんに相談してみよう）

そう思っていたらもうひとつ

「クリスマスに困んだ賢者の贈り物の劇を小学生の子にやってもらったら？」

そんな意見がでたから

「なら、主役の一人に心当たりがあるから頼んでくる」

ぞう言つて鶴見留美に頼むと

「他にも候補は居るの？」

「居ない、こんな事を任せられる（俺が話し掛けられる）のは鶴見留美ただ

一人だ」

うん、やはりコミュ障はこうゆう時に苦労するそんな事を思いながら留美と話しているところに雪ノ下雪乃が現れたので

「賢者の贈り物ね…」

企画書を見てそう呟くのを聞いて

「知っているのかなんてヤボな事は聞かない、逆に俺の方がかろうじて知っているってレベルでしか知らんから演出を任せられると助かる」

そう言つて頭を下げると気を良くした雪ノ下雪乃が

「良いでしょう、その依頼引き受けましょう」

そう言つて快諾してくれた

一度歯車が回り始めれば後は歯車自信が回り続けようとするから見守れば良い
天使の格好した園児達がケーキのを配る…

「衣装は白のスモックに羽飾りをつければ良いしスモックは簡単に作れる」
そう川ナンとかさんに言われて俺も挑戦した簡単には作れなかつたぞ？

まあ、ナンとか及第点が着いたから園児に着てもらえたがな

本番が近付いてくるに従い慌ただしさが増し、喧騒の中で迎えたイベント当日…

クリスマスリース作りを体験してもらい異世代間の交流をしてもらい

天使の歌声に鶴見留美の熱演雪ノ下雪乃他の有志が焼いてくれたカップケーキとそ
れを配る天使達…

イベントは多分成功した…と、そう思いたい

後片付けをしながら、そう思つてしまう俺は間違つて無いはずだ

打ち上げをするからと言われて慣れない俺が戸惑俺も悪くないが喜びが隠しきれな

い俺ガイルのもまた事実で

新制生徒会執行部：俺の生徒会長としての初仕事はこうして幕を閉じた

これから一年、どんな事が待っているかはわからないがきつと他の役員も助けてくれるだろう：

第5話

何だかんだで彩加と隼人独り占め状態のアタシはアンチ勢力も手強く気が付いたら
と言うか城廻先輩がアタシの居る奉仕部に来て

「比企谷さんが生徒会の会長に立候補してくれるなんて…」

そう言つて興奮ぎみにアタシの手を握る城廻先輩と

まさに青天の霹靂だろうアタシが

「へ？」

と、答えると

「その反応はやっぱ先輩もハメられましたね？」

そう言つて城廻先輩の後ろから現れたのは

「一色じゃん…先輩もつてことはお前もか？」

そう聞いたら

「はい、気が付いたら会計に推薦されました」

「ふーん、上等じゃん…無事に当選した暁には推薦人達は精々濃き使つてやるよ、

アタシに喧嘩売つたこと悔やんでも手遅れつてこと一年間かけてたっぷり身に染み込

ませてやんよ

「一色はどうする？　このままおめおめと尻尾巻くのか？」

「そう聞いたら」

「勿論そんなの性に合いませんから、しつかり報復しますよ？　悪意から推薦人になつた人達にはですね」

「それにですね…　八重先輩と一緒にやるのなら生徒会の仕事も面白そうじゃないですかあ？」

「仕事をきつちりこなして見返してやりますよ」

「そう答えてアタシの手を握つてきたから」

「雪乃、奉仕部に依頼をしたい…　アタシと一色の選挙協力を頼みたいんだけど良いかな？」

「そう雪乃に聞いたら」

「「じ、じゃあ奉仕部はどうなるの？　生徒会長になつたら辞めなきゃいけないんですよ？」」

「結衣がそう聞いてきたから」

「形式上はな…でもアタシは辞めるつもりはない、確かに部室にはあまりこれないかもしれないけどここはアタシにとっても大切な場所」

だから雪乃と一緒にこの場を守って欲しい：そしたら生徒会の仕事に疲れた時にはまた顔を出せるからな」

そう言つて苦笑いを浮かべると

「お土産代わりの仕事も持つてきそうですね？」

そう言つて雪乃に笑われた

選挙に関してははつきり言つて楽勝だ

対立候補が無く葉山と雪乃に応援演説に立つてもらい各種イベントを通し教師からの覚えもよく：

ナニより、自分達の落ち度を批難する事なく

「これもひとつの切っ掛けだから」

そう言つて騒ぐ事なく当選を目指して選挙活動に取り組んだ事により安心した教師陣もアタシ達を悪くは言わない

何よりいろんな行事でアタシは目立ってたしな、いろんな意味で：それに隼人とならんで同率二位は伊達じゃない

体育祭、文化祭で培われてきた人脈も伊達じゃなく現行生徒会も後任と言つて支援してくれている

だからまあ後は会長になったらその期待を裏切らない努力をするだけだろうし奉仕

部も外部有志を名乗り

「必要なときは応援に駆け付けましょう」

「そう言ってくれたからアタシも」

「奉仕部のみならずアタシの推薦人の皆様もこのような際の人手の要るときはきつと手伝ってくださることと思います」

「こんなアタシですけどこれ迄関わってきた各種イベントを通して交流を深めてきた仲間達」

先代の生徒会長である城廻先輩に憧れる、アタシも皆さんと共に楽しい学校生活が過ごせるよう努力を惜しまないつもりです。どうかよろしくお願いいたします。」

そう言って頭を下げて就任演説を終えた